市民のひるば



第3回



国道195号線から新仙頭大橋(物部 町)を渡ると、柚子畑が出迎えてくれ る。集落の中心には阿弥陀堂が見える。 阿弥陀堂説明板には、次のように書いて

年) 岡之内小松中務正宗二男 小松入道が

秀) は一子千雄丸 (国親=元親の父) を連れて光明寺に逃れ、永正8年7月7

った

条時宗が鎌倉の極楽寺に寄進し、幕府滅亡まで極楽寺が荘園領主であった。

川氏が石内名※4を重要視していたものと考えられる。

光明寺の古文書には次のように書かれている。 「応永4年(1397年)、細川管領家より石内名が光明寺に寄進せられ、石内名の名本職(役人の

院・宝性院・心鏡院・勝善院殿等の追善所となす」

たと思われる。

仙頭大橋下の上流部に三差路があり、そこには高さ1.3 メートルほどの自然石の「丁石」がある。明治10年に建 立されたもので、次のとおり書かれている。

「神明宮是より一里十八丁右へ 小松神社是より三里五丁 剣神社是より三六丁」 (碑文のとおり)

この丁石は、地元仙頭日浦・押谷・影山崎そして萩野 赤岡・岸本の人たちの寄進によるものである。

(香美史談会)

専当職とは荘官の職のひとつ。※2 四郎佐衛門は光 明寺を修理して住まわせたと言われている。※3 明治初年 の仏教排撃運動。神仏分離令が出されたのをきっかけに、

各地で寺院・仏像の破壊が行われた。※4石内名(いしうちみょう)地名。日ノ地のあたりを指す。 ※5 大忍庄(おおさとのしょう)土佐国の大きな荘園で現在の香南市香我美町~旧槇山村を指す。



ぷり < は、牛肉と変 低カロリーで必 まし この夏を乗り切 低力 分 が ただきまし 少 紹 ガ 「か多く含まれていまか多く含まれた。味は意外になど、 にきました。 できました。 が多く含まれていまなる であいる。 が多く含まれていまない。 が多く含まれていまない。 が多く含まれていまない。 が多く含まれていまない。 が多く含まれていまない。 が多く含まれていまない。 がでしょうか で栄 か を あ 0 7 みべまつまクてのしもがハ

限ら のわ 6 が、化毎首の害は香美市 東京都で たり特 全 玉 的 北海 な問 集し 掲 ŧ 道 起こ 号と、 題 か となってお となってお となってお と、2回 四国 کے

「仙頭は古来小田々村といったが、永仁 3年(1295年)景国専当職※1として 寺領の統合にあたり、応永4年(1397

となり、専当入道沙弥善住を名乗り、その子孫専当四郎左衛門章貞の 永正6年(1509年)9月23日、岡豊城落城により城主長宗我部兼序(元

日、岡豊城に帰城※2。そのため専当氏は代々長宗我部氏に仕え、仙頭(専当)または小松姓を名乗 り、藩政時代には大庄屋・郷士などの名門として栄えた。明治初年、廃仏毀釈※3によって廃寺とな

熊野社の荘園当時に制作された阿弥陀如来座像は、11世紀頃の熊野社の本地仏ではないかと考え られる。というのも、旧槇山村は、鎌倉時代には北条得宗家の荘園であり、弘安6年(1283年)、北

南北朝動乱後は、足利氏の支配に属し、熊野神社の荘園に戻った。土佐国守護となった細川管領家 が、五台山吸江庵との連絡所として、光明寺を利用したのではないかと思われる。室町時代、管領細

一種)は、先例に任せて御公用等怠り無くなさるべく事」

「応永11年(1404年)、光明寺住職、同檀那沙弥善住に槇山石内半名を寄進するので、永泰

大忍荘※5に属する槇山村は、室町時代に管領家から信頼された岡ノ内の名主が専当職に任用され

物部町安丸 お礼のごあいさつを申しあ ましのことばをいただき心 に恐縮とは存じます から感謝申しあげます。 るべきところです 本当にありがとうござ 本来ならば直接お伺いし、 が、

礼にかえさせていただきま してお詫びとお

しましたこと深くお詫び申

で迷惑とご心配をおかけ致

位ならびにご近所をはじめ、 皆さま方よりお見舞い 防関係各 多く や励 ある方、 でご参加ください 動に適した服装、 知識も必要ありません! 参加ください。 経験者の方も、 【日程】 【場所】 初初 心者を対象 心者**弓道** 8月

靴下着用

香美市

の皆さん

こんに

11 日

(火)

しあげます。

また、

火災の際 去る 5

É

してみたい方、

孫銘会がま留学中図

本れて文、迎

<

化多

しえ日く

を

迎

え

7

もら

ま 教 0

つ四また万た

と川海

(中国·黒龍江省)

興味の

道具も予備 お気軽にご 際に

まちの

声

揭示

板

【参加費】 【定員】 毎週火・金19時~21時9月11日(金) 全10回 平日8時 5名程度 時久弓道場 般男女 30分~ 佐山田町須江 岡本明弘 工佐山田支部 5 5 0 0

時久弓道場

(19時~

る人に を使う研究をして 報に加えて、 を決めます。 は人と情報環境のありよう コンピュー 人間とコンピュ る研究室は の研究をしてい やさ 今は高知工 大学院修士課程を 夕の使いやすさ しい 黒龍江· 視覚、 私が所属して 私は「触覚」 「誰でも使え コンピュ 来ました。 います 専門は情 ます。 聴覚情 から

研究成果です。 頑張って しました。とても楽しかっ紙の博物館・華道等に参加 たので、 私にとって新 特に川や山や桜が好きで 香美市はとても美しく、 茶道・ホ こって新しい分野成果です。このない。 挑戦する気持ちでって新しい分野でし果です。この研究は名この分野の います。 ムステ か 1

記着信を音ではな い

でも

日

本

き

のた

つこ

身を食べたとき で食べて います。 たとき 初めてがめる好

今は楽し

の風 強と専門の研究に頑張っました。今私は日本語の 歌がありますが 音楽とバスケッ 取り組んでいます 、たくさんの友達ができ香美市の皆さんは親切 たくさん日本の好きな トボ 趣味 では て勉





